

SHIRO NO MACHI 城のまち

vol.25 2023.3.22

編集／「城のまち」広報委員会
 福井県坂井市丸岡町霞町1-13-1
 丸岡 城のまちコミュニティセンター内
 TEL/FAX 0776-66-1276
 ホームページ http://www.shironomachi.jp/



城のまちコミセン公式Instagram登録はこちらのQRコードから！



丸岡古城まつり からくり人形山車巡行 令和4年10月9日

コミセン活動スケッチ

いあいさつ



城のまち区長会 会長 東 和幸

令和五年城のまち地区区長会会長をお受けすることになりました八幡町区長の東和幸です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。コロナ禍ではありませんが、近頃、国・県をあげての旅行や食事を後押しする動きがあり、またそれを楽しみむが増えています。それに、令和六年には北陸新幹線福井・敦賀開業になり、何かと活気溢れる日々になるでしょう。丸岡城・東尋坊・恐竜博物館・永平寺・あわら温泉など、福井県の見どころや食事処満載の地でもありますので観光客もたくさんお出でになることと思います。また、今回丸岡城下のふれあい広場がゴールとなるふくい桜マラソン大会が行われます。城のまち区長会では、地域の皆様と共にランナーをおもてなしの心でお迎えして、大会を盛り上げるためにスタッフ一同協力していきたいと思ひます。地域の皆様と共に一年間、区長会の皆様と力を合わせて精一杯務めさせていただきますので、何卒ご理解ご協力とご参加の程をお願い申し上げます。

コミセン講座



親子で学ぶおこづかい講座



やってみようピクス！



気軽に立礼式お抹茶



子ども茶道教室



子ども生け花教室

放課後子ども教室

霞交番
TEL 66-0110



坂井警察署 霞交番からのお知らせ
 ● 自転車は車の仲間です。交差ルールを守りましょう。
 ● 一時停止の標識（止まれと書いてある標識）がある場所では必ず一時停止してください。
 ● 固定電話にかかってくる電話で、お金の話が出たら詐欺を疑ってください。注意喚起するために、電話機に「お金の話は詐欺」等と記載しておくのもいいと思います。
 ● 霞交番では、「お金の話は詐欺」と書かれたプレートを希望者に配付しています。（別添）

本多作左衛門重次について

城丸部会 会長 竹 吉 睦

歴史家の磯田道史さんが、昨年十二月の講演で言及された鬼作左と本多作左衛門重次についての補足です。
 享禄二年一五二九三河国額田郡大平(現愛知県岡崎市大平町)に生まれた重次は、もともと古くから松平家に仕えていた譜代の家臣でした。七歳の時から松平清康(家康の祖父)に仕え、広忠家康の父として家康に仕えます。永禄六年(一五六三)の三河国一向一揆では、宗旨を浄土宗に変え一揆の鎮定に尽くします。永禄八年に家康が三河国を平定すると、重次は高力清長(こうりきよなが)が、天野康景(あまのやすか)とともに三河三奉行に任命されます。「高力、鬼作左、とちへんなしの天野三郎兵衛」はこの頃の言葉とされています。元龜三年の三方ヶ原の合戦で家康が武田信玄に敗れた時しんがりをつとめ、武田軍の追撃をかわしました。その後も、長篠の合戦、高天神の合戦、蟹江城攻め、などにおいて奮戦し、右目を失うなど身体中刀傷だらけであったと言われます。
 「鬼作左」と呼ばれた重次ですが、江戸時代に書かれた本には、重次が高札の文字を仮名書きにしたところ、人々が内容をよく守るようになったこと、家康が釜茹の刑に使おうと安倍川かの瓦から大釜を運ばせたところ、これを見た重次が釜を打ち砕いたことが書かれています。史実かどうか分かりませんが、重次の人となりや伝説を伝える逸話と言えるでしょう。
 天正一四年(一五六六)、岡崎に下向した豊臣秀吉の母大政所の宿舎の周囲に薪を積み上げ、上洛した家康の身に異変が起こった際には火を点けようとしたことなどが秀吉の不興を買いました。そのため天正一八年の家康の関東入国時には、上総国古井戸に三千石の領地をたまわり、諸役を免除されました。後に領地は井野に移され、慶長元年(一五九六)七月一六日に井野で没しました。六八歳でした。取手市の本願寺が菩提寺で、法名は本誓院殿月窓浄運大居士。
 のち、丸岡城主となった仙千代こと本多成重は、三國滝谷出村の寺を父の菩提寺とし「月窓寺」と名づけます。つづく重能は、丸岡に父成重の戒名本光院殿鉄哉士庵大居士と祖父重次の法名を合わせた「本光院月窓寺」を創建し本多家の菩提寺としました。

寄せ植え講座

- 平章小学校6年生卒業記念49名 令和5年3月7日(火)
- しろの子保育園 令和5年3月9日(木) 29名
- 緑幼稚園 令和5年3月14日(火) 7名
- 電幼保育園 令和5年3月15日(水) 24名

編集後記

昨年秋の古城まつりは、台風↓コロナ↓コロナによる中止の後の4年ぶりだったので多くの皆様にとってかなり高揚感があったと思います。コロナも大分収まってきてきた感があるため今年も開催を楽しみにしています。(T・M)

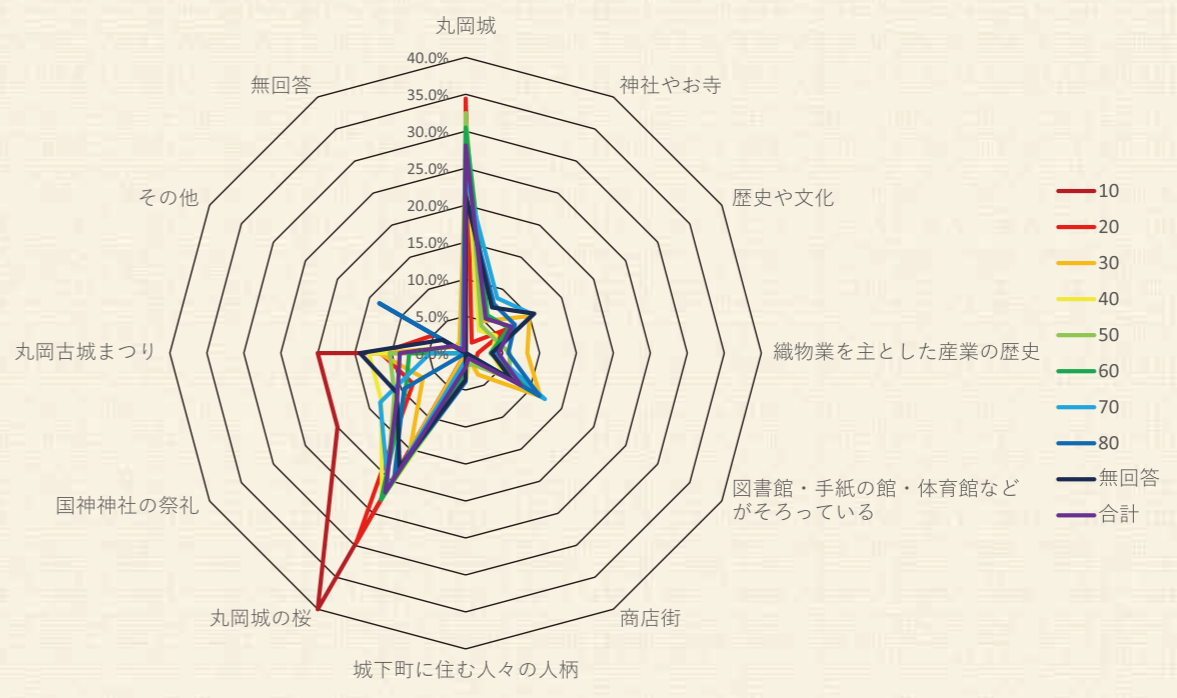
2011年3月11日の東日本大震災から12年の歳月が経ちますが、未だに東北地方の被災地の復興は終わっていません。2月に起きたトルコ地震を見るといつまた私達の身に降りかかるかも知れません。自然の力で発生する災害を未然に防ぐことは困難です。そこで、災害が起きたらどのように行動し如何に対処したら最小限に被害を食い止められるかが重要になります。

城のまちまち協では毎年防災訓練や防災講演会を実施しています。ぜひとも皆さん、この訓練に参加してみてください。

(お天守丸)

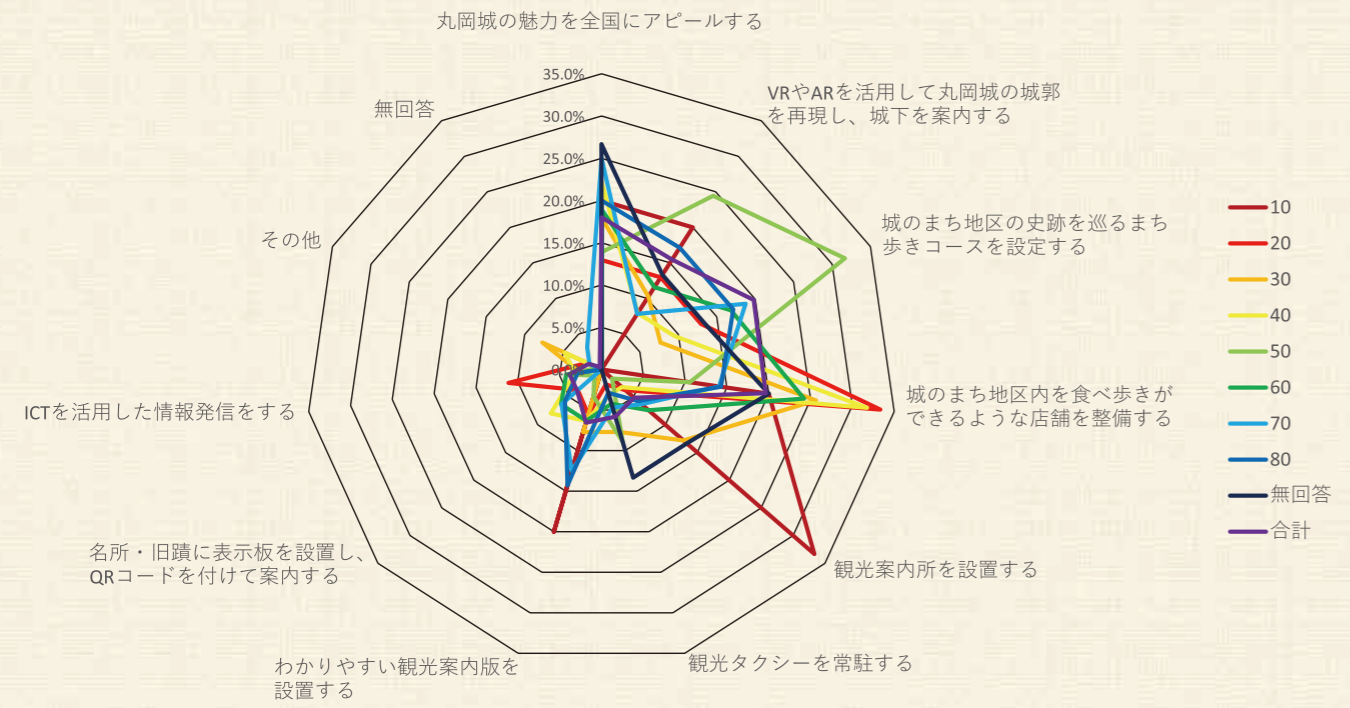
令和4年7月に実施した城のまちまぢづくりアンケートの結果につきまして、昨年の10月発行の城のまちかわら版でその一部をお知らせしましたが、今回は、年代別によるアンケート結果の一部をご紹介します。

Q 城のまち地区の魅力（自慢できるもの）は何ですか？



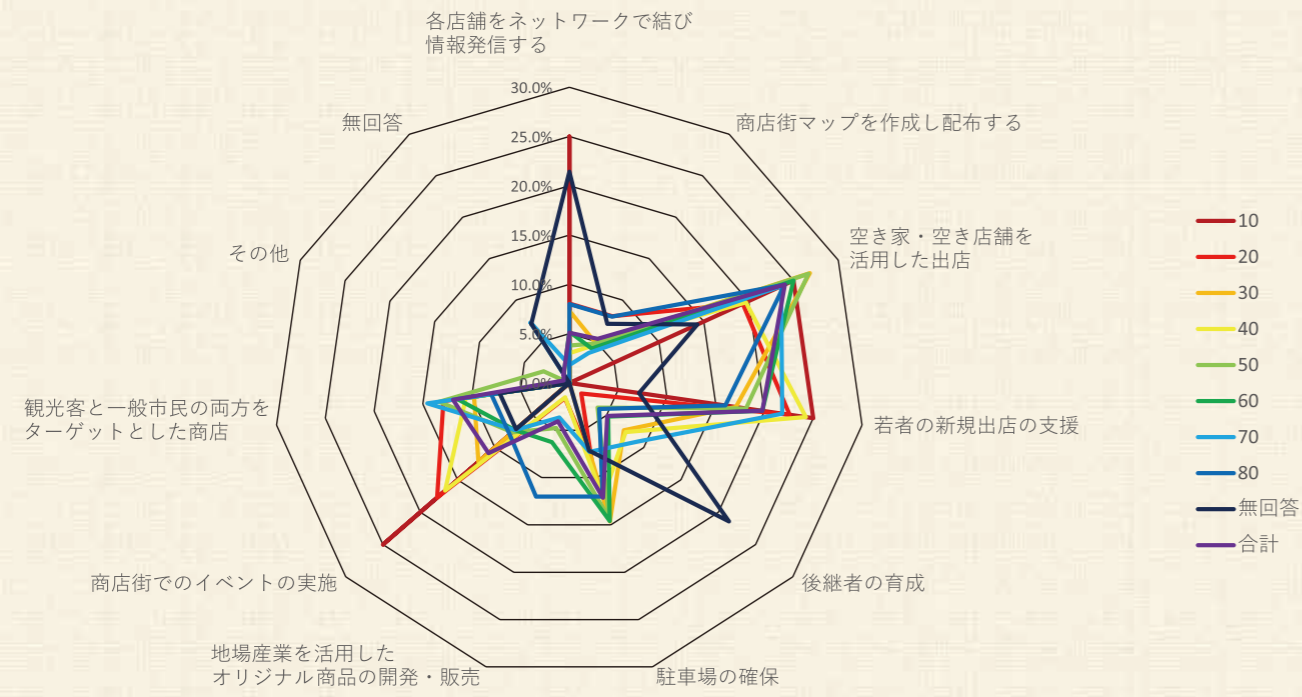
全ての年代で「丸岡城」並びに「丸岡城の桜」を地区の魅力と考えており、令和3年に策定された「丸岡城周辺整備基本計画」に記載されているとおり、高齢化している桜の計画的な植え替えなどの対応が求められます。

Q 丸岡城を核とした賑わいづくりのために取り組むと良いと思うことは何ですか？



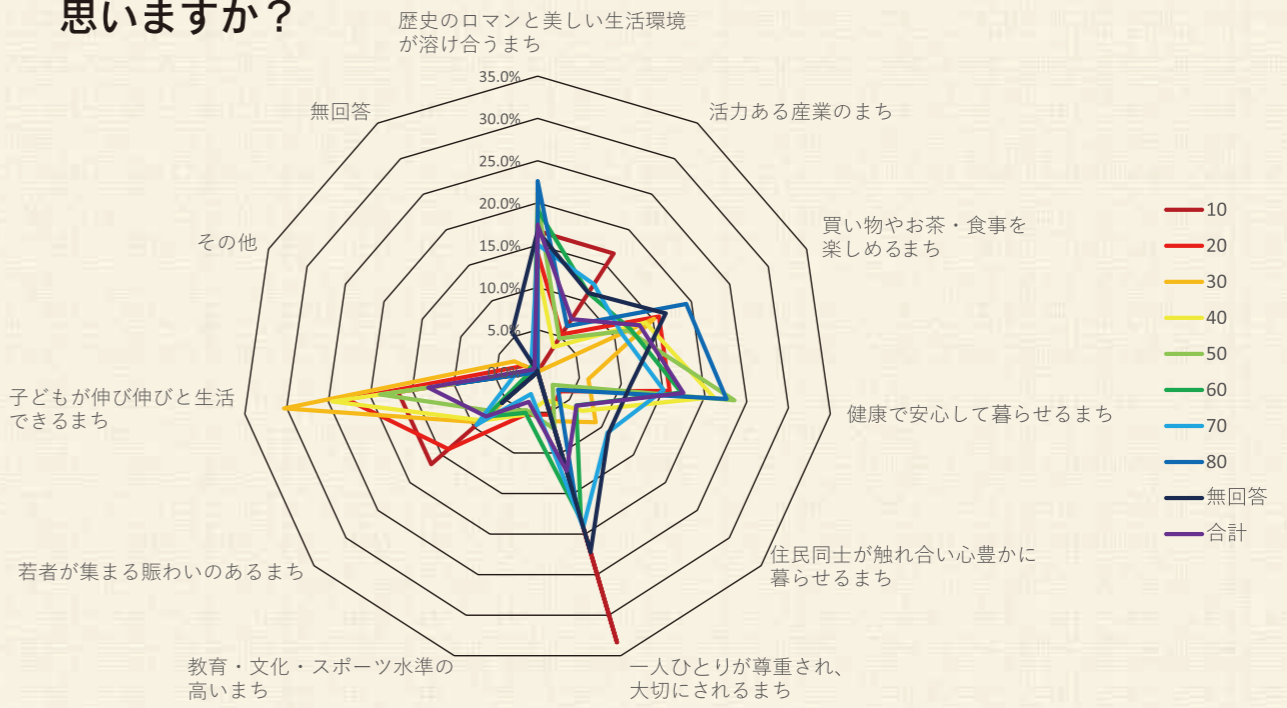
20歳代から40歳代までおよび60歳代で「城のまち地区内を食べ歩きができるような店舗を整備する」が多く、70歳代および80歳代では「丸岡城の魅力在全国にアピールする」が多い。また、10歳代では「観光案内所を設置する」が多く、50歳代では「城のまち地区の史跡を巡るまち歩きコースを設定する」や「VRやARを活用して丸岡城の城郭を再現し、城下を案内する」が多くなっています。

Q 商店街の活性化のために取り組むと良いと思うことは何ですか？



各年代全体で「空き家・空き店舗を活用した出店」が最も多く、これに次いで全体的に「若者の新規出店の支援」が多くなっています。また、10歳代から40歳代までで「商店街でのイベントの実施」が多い。空き家・空き店舗対策については、「丸岡城周辺整備基本計画」にも書かれている様に、空き家・空き地等の民間利活用を促進する仕組みづくりを支援していく必要があります。

Q 城のまち地区が将来どのようなまちになっていると良いと思いますか？



全体的に「歴史のロマンと美しい生活環境が溶け合うまち」や「健康で安心して暮らせるまち」を選んだ人が多く、若い世代では「子どもが伸び伸びと生活できるまち」が多く、10歳代および高齢世代では「一人ひとりが尊重され、大切にされるまち」が多くなっています。

災害は忘れた頃に やってくる。その時…

**避難所開設運営訓練
区長会とまち協で合同開催
令和4年11月10日(木)**

場 所：平章小学校体育館
参加者：35名
防災備蓄倉庫の確認・会場準備 18:00
訓練開始 19:00
全体説明

●「感染リスク」に備えた避難所運営および今回の訓練について坂井市安全対策課より説明。

施設の安全点検 19:20
●施設安全点検票についての説明、施設の安全点検について学ぶ。

レイアウト訓練 19:30
●間仕切り、ベッドの設置、簡易トイレなどの設置。
●体育館を避難所として利用する際のレイアウト(区画)や通路の確保について学ぶ。

避難所施設確認 20:15
非常用発電機(LPガス)のガス供給ボックスの確認・試運転を行う。

訓練終了 20:30
後始末



丸岡城外堀の 名残りを後世に残す

**クリーンアップ田島川
令和4年10月23日(日)**

コロナ禍のため、規模を縮小し、まちづくり協議会のみで実施。

参加者：46名
城のまちコミュニティセンター前(旧国道8号線の霞橋から天守橋)の田島川の藻の刈り取りおよび草刈り・燃えないゴミの回収をしました。また、いこいの家の花壇とその周辺の草刈りと樹木の剪定ならびにお天守前公園の花壇とその周辺の草取りと清掃を行いました。



4年ぶりの開催 丸岡 城魂を次代へ

**古城まつり からくり人形山車巡行
令和4年10月9日(日)**

丸岡古城まつりが4年ぶりに開催され、城のまち区長会・まち協、丸岡高校生、大学生ボランティアならびに長畝地区区長会、竹田の里まち協の皆様のご協力により、からくり人形山車2台が城のまち地区内を練り歩きました。

当日は晴天に恵まれ、太鼓や三味線の音色が祭りを盛り上げ、囃子方の子どもたちも、力強いバチさばきを見せてくれました。



手作り望遠鏡で 月・木星・土星を見よう!

**城のまち de ほしみないと
令和4年10月1日(土) 18:00~**

場 所：城のまちコミュニティセンター
参加者：平章小学校親子 18組

手作り望遠鏡を親子で製作し、月・木星・金星を観測しました。手作り望遠鏡を月に向けて焦点を合わせ、月のクレーターが見えるとあちらこちらで大きな歓声が上がりました。

木星や金星はなかなか見えませんでした。高倍率の天体望遠鏡で木星や金星、そして土星も見ることができ、みんな感激していました。



誰でも簡単に凝り・固まりにアプローチ

コミセン共催講座
「おうちでできる簡単セルフケア」
～現役看護師が教える
痛くない筋膜リリース～
令和4年11月30日(水) 10:00～

最近テレビや雑誌等で話題になっている筋膜リリース。誰もがいつまでも若々しく健康でありたいと願いますよね。講座では、筋膜の仕組みやおうちでできるセルフケアの仕方をわかりやすく学びました。

受講者の声

★始める前の体の悩みや不調は？

肩こり・首こり、ひざ・腰の痛み、姿勢が悪い、体が硬くなっている、足腰の衰え

★講座を終えての感想

一度の講習ですぐに肩が楽になった。説明がわかりやすく、定期的に教えて欲しい。知らなかったことばかりでとても勉強になった。主人にも伝えて、さっそく今日からやってみよう。

それぞれのライフスタイルに合わせて、日々のボディケアをすることが10年後・20年後のカラダへ繋がっていきます。



心も体もまちも健康がいちばん

歴史探訪ウォーク
令和5年3月12日(日) 9:00～

丸岡城ゆかりの場所（お天守、台雲寺、白道寺、本光院 etc.）を、丸岡観光ボランティアガイドの皆さんの説明を受けながら巡り、丸岡城に関する様々なことを再認識するとともに、歴史のロマンに浸りました。

参加者：50名

参加者の声

- ★普段自動車でしか通らない所に、城下案内の石柱がたくさんあるのにびっくりした。
- ★街中に空き家が多いことに改めて気づいた。
- ★丸岡城の外堀のことがよくわかった。



今川節を生んだ まちは音楽大好き。

しろまちかふえコンサート
令和5年2月22日(水) 12:30～

タニロツソの迫力あるトランペット演奏と林田美代子さんの素敵な歌声に酔いしれました。また、コミカルなトークとサウンドで、笑顔と元気をいただきました。

会場：しろまちかふえ

参加者：50名

参加者の声

- ★選曲がすごく良かったので、とても楽しかった。
- ★演奏者のトークが面白く、気軽にコンサートを楽しめた。



五穀豊穡と世の平和を願う神事を学ぶ

第2回 おとなの歴史学習会
令和4年11月12日(土) 14:00～

場所：日向神楽伝承館

(丸岡町長畝 46-19 八幡神社内)

テーマ：日向神楽の歴史と保存会

講師：日向神楽保存会会長 山田 正幸 氏

延岡藩から丸岡藩に受け継がれた日向神楽について学習しました。

鬼神の舞をビデオで観賞し、素晴らしさを実感。日向神楽伝承館の中を案内していただき、日向神楽を先人から受け継いで保存・伝承に努める長畝日向神楽保存会の活動に心を打たれました。

